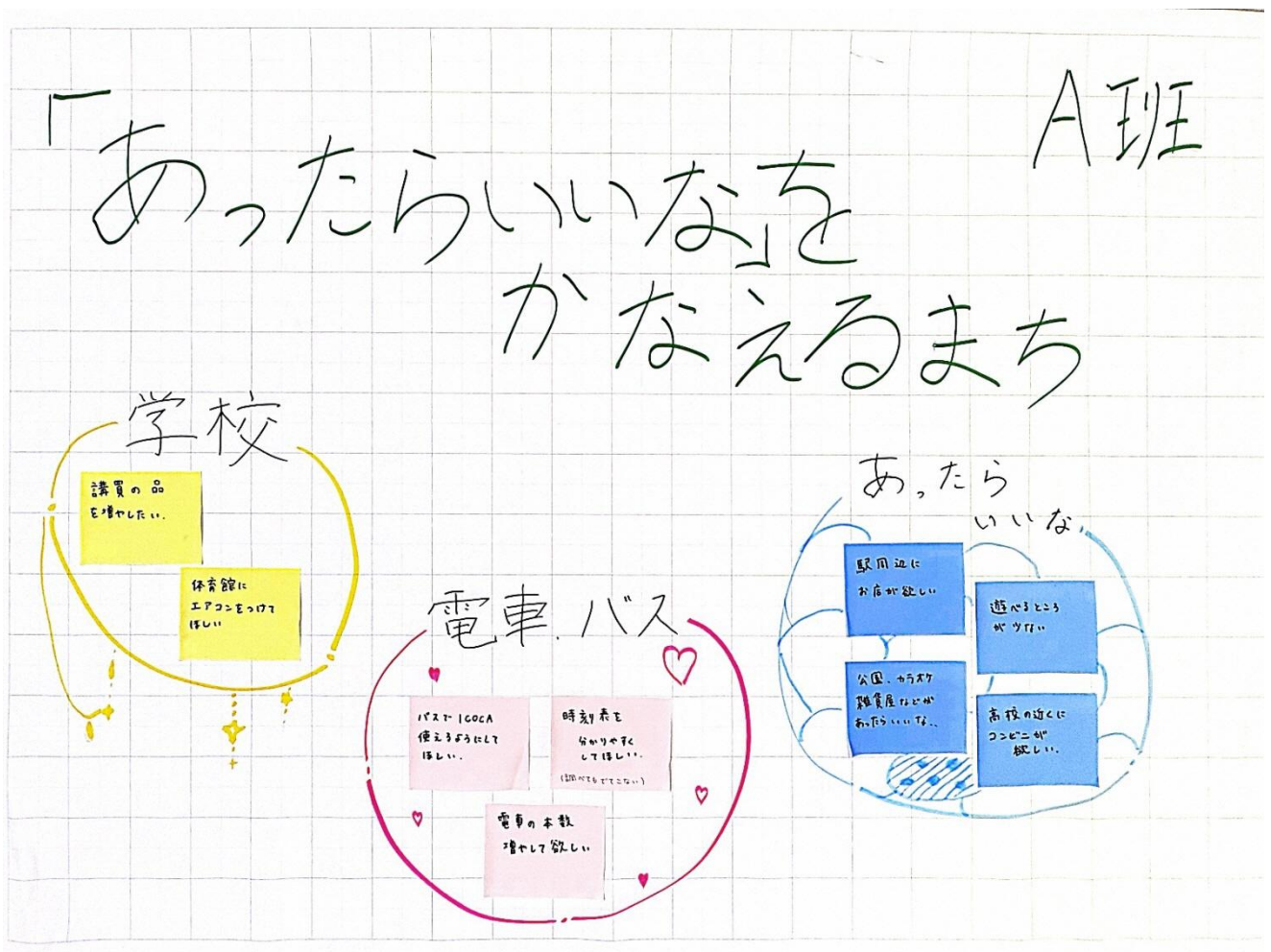


高校生との意見交換会 報告書

学 校 名	第一学院高等学校養父校		
年 月 日	令和8年7月10日	会 場 名	第一学院高等学校養父校 3階 教室6
開始時間	14時00分	終了時間	15時30分
参 加 数	生徒 10人	議員 6人	合計 16人
班 長	深澤 巧	報 告 者	北山 愛、西垣勲一、深澤 巧
班 員 名	(グループA) ○北山 愛、田路之雄 (グループB) ○西垣勲一、藤原芳巳 (グループC) ○西田雄一、深澤 巧 (○印…進行役)		
テ ー マ	高校生の「あったらいいな」をかなえるまち ～学校・地域で今困っていることを一緒に解決しましょう～		

グループA



【出された意見・アイデア】

(学校)

- ・購買の品を増やしたい
- ・体育館にエアコンをつけてほしい

(電車・バス)

- ・バスでICOCAを使えるようにしてほしい
- ・時刻表を分かりやすくしてほしい (調べても出てこない)
- ・電車の本数を増やしてほしい

(あったらいいな)

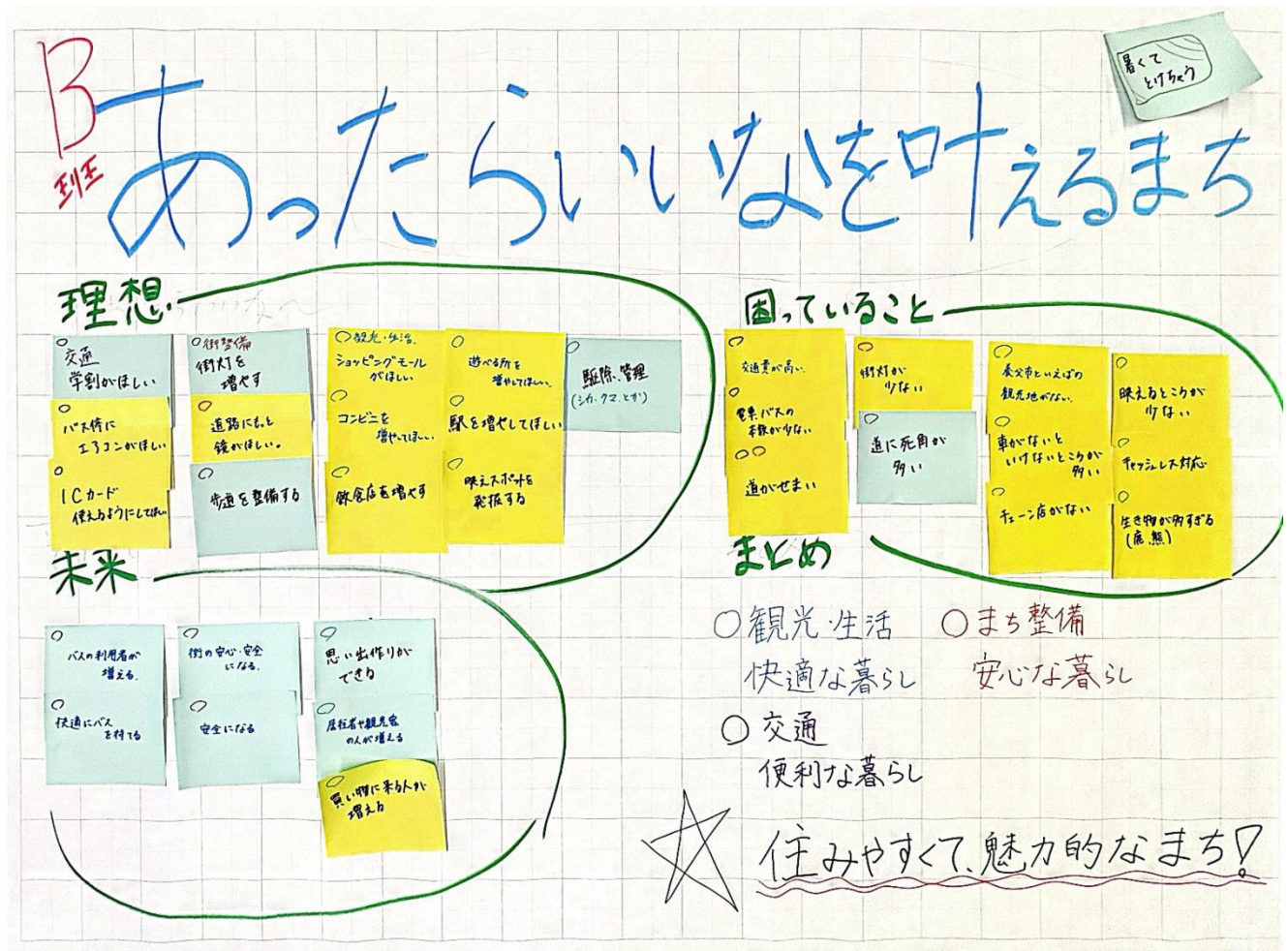
- ・駅周辺にお店が欲しい
- ・公園・カラオケ・雑貨屋などがあってほしい

- ・遊べるところが少ない
- ・高校の近くにコンビニが欲しい

【グループAまとめ】

学校生活や通学環境、日常生活の利便性に関する意見が多く出された。特に、体育館へのエアコン設置や購買の充実など学校環境の改善に加え、電車・バスの利便性向上やICカードの利用、駅周辺や学校近くへのコンビニ・商業施設の整備など、「高校生が安心・快適に過ごせる環境づくり」を望む声が多く見られた。また、遊べる場所や交流できる場所が少ないことも課題として挙げられた。

グループB



【出された意見・アイデア】

(困っていること)

- ・交通費が高い
- ・電車、バスの本数が少ない
- ・道がせまい
- ・街灯が少ない
- ・道に死角が多い
- ・養父市といえの観光地がない
- ・車がないと行けないところが多い
- ・チェーン店がない
- ・映えるところが少ない
- ・キャッシュレス対応
- ・生き物が多すぎる (シカ・クマ)

(理想)

- ・学割がほしい
- ・バス停にエアコンがほしい
- ・ICカード使えるようにしてほしい
- ・街灯を増やす
- ・道路にもっと鏡がほしい
- ・歩道を整備する
- ・ショッピングモールがほしい
- ・コンビニを増やしてほしい
- ・飲食店を増やす
- ・遊べる所を増やしてほしい
- ・駅を増やしてほしい
- ・映えスポットを発掘する
- ・駆除・管理 (シカ・クマとか)

(未来)

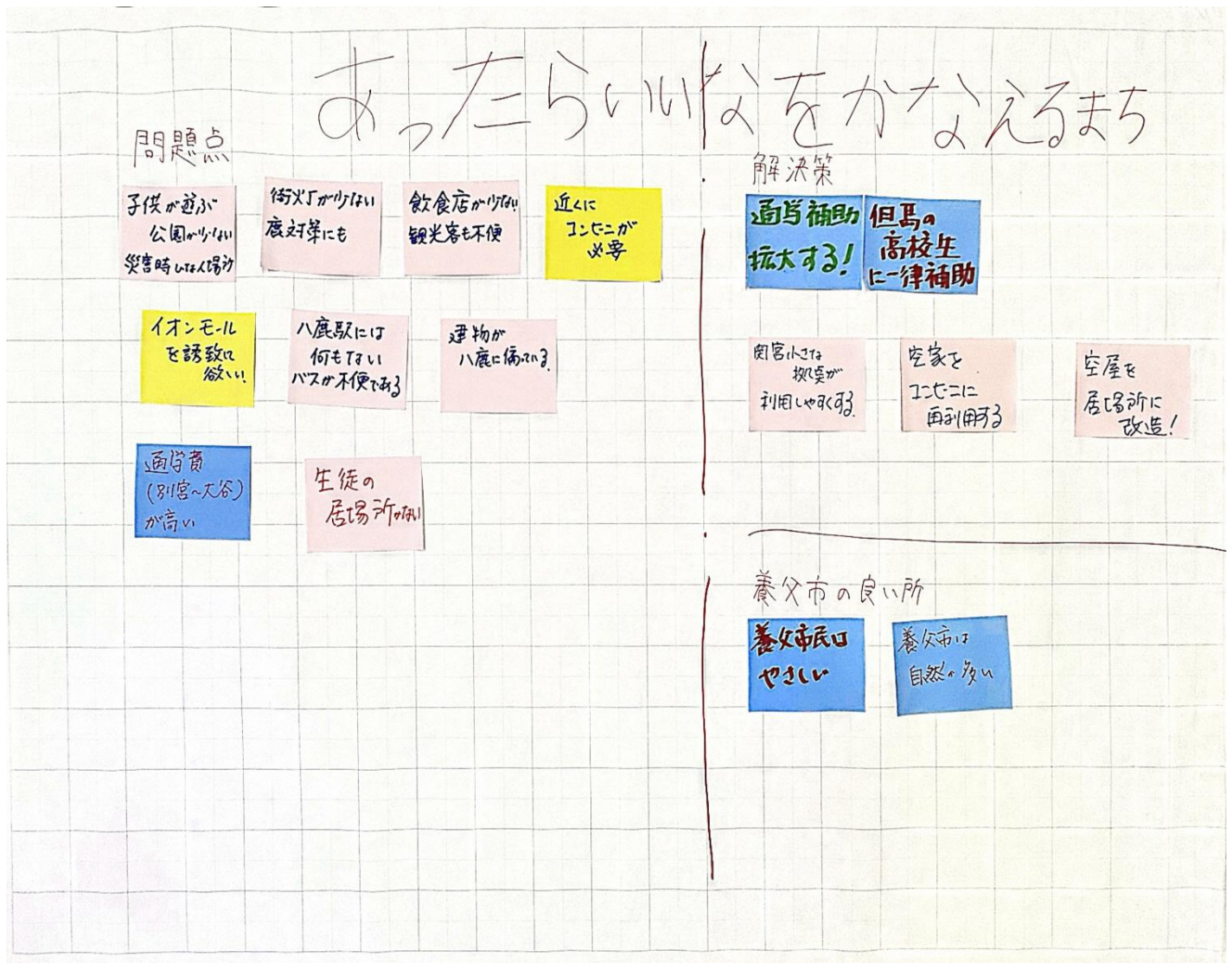
- ・バスの利用者が 増える
- ・快適にバスを 待てる
- ・街が安心・安全になる
- ・思い出作りができる
- ・居住者や観光客の 人が増える
- ・買い物に来る人が 増える

【グループBまとめ】

- ・観光・生活（買い物等）に関する充実が、快適な暮らしにつながる。
- ・道路・街灯等の町の整備や害獣等の対策により、安心な暮らしができる。
- ・移動手段や費用の対応などの交通状況の確保で、便利な暮らしをまもる。

☆ 快適で安心して便利な暮らしが、住みやすく魅力的なまち、あったらいいなを叶えるまちに繋がる。

グループC



【出された意見・アイデア】

（問題点）

- ・子供が遊ぶ公園が少ない、災害時避難場所
- ・街灯が少ない、シカ対策にも
- ・飲食店が少ない、観光客も不便
- ・近くにコンビニが必要
- ・イオンモールを誘致して欲しい
- ・八鹿駅には何も無い、バスが不便である
- ・建物が八鹿に偏っている
- ・通学費（別宮～大谷）が高い
- ・生徒の居場所がない

（解決策）

- ・通学補助拡大する！
- ・但馬の高校生に一律補助
- ・関宮小さな拠点を利用しやすくする
- ・空家をコンビニに再利用する
- ・空家を居場所に改造！

（養父市の良い所）

- ・養父市民はやさいい
- ・養父市は自然が多い

【グループCまとめ】

- ・生徒は2名だけであったが、落ち着いて丁寧に意見を出していただいた。
- ・公園、街灯、空き家対策・利活用などはこども出前講座でも同様の意見が出てきており、これらの課題解決への取組について議論を深めていく必要がある、若者のわがまちへの当事者意識の醸成に繋がる。議会側も施策の取組状況や具体的な成功事例を準備して臨むべきである。
- ・生徒の一人は豊岡、もう一人は別宮からの通学をされている。通学費負担や交通移動手段が無いことにより教室外での居場所がないことに困られていた。
- ・グループワーク形式では生徒の『つぶやき』的な発言を上手に拾い上げ意見交換に発展させることが有効である。

まとめ

令和元年以降、第一学院高校での意見交換会は4回目となった。また、担当の先生もこのような機会の意味を充分理解いただき、生徒たちと事前のコミュニケーションも持たれていたように受け止めた。学校側は大変丁寧な対応であったと感じる。

養父市での令和8年3月中学校卒業生179名の内14名(7.8%)が私立通信制高校に進学している。第一学院高校にも過去最高の7名が進学されている。通信制高校に進学し「これまでの中学校とは別人のように学んでいる」ということもあるとのことである。折角の意見交換会である。単に会を重ねるだけでなく、1つでも2つでも市民の、高校生の願いをかなえることを目指したい。

生徒から意見を出された、3市2町共通の但馬圏通学費補助制度の考えは大変参考になった。

高校生との意見交換会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和8年8月27日

報告者 班長 深澤 巧